

江戸川区地域エネルギービジョン第2回策定委員会 要旨

日時：平成19年9月7日（金）15時45分～16時50分

場所：タワーホール船堀 407会議室

1. 開会

- 事務局より開会の挨拶、配布資料の確認。
- 副委員長の挨拶。

2. 見学施設についての意見交換

【委員の意見・感想】

- 風力発電は、施設自体の導入は難しいかもしれないが、市民一人一人が出資して利回りで還元するというファンドの仕組みは活かせると思った。また、バイオマスは、地域という広い単位で回していくという仕組みは将来に向けて活かせるかもしれない。市民一人一人が参加できる仕組みや江戸川にある資源を利用できるということが大事であると感じた。
- どちらもかなり高額な設備投資を要すること、バイオマスなどはかなり高い技術が必要であると感じた。導入を検討する場合は、システム構築をしっかりと考えなければいけない。また、運用面を考えたときにバイオマスプラントなどは設備を小さくすれば江戸川区にも導入可能かと思った。
- 電力会社でもなかなかこのような大きな風力発電などを見に行く機会がないので、とても勉強になった。風力発電は自然エネルギーの中でも、商用電源との組み合わせで有効な手段である。グリーン電力基金などを活用して様々な形で協力していきたい。
- クリーンな電力はこれからますます重要視されるであろう。色々なリスクはあると思うが、風力発電を葛西臨海公園あたりにつくれないものかと感じた。風力発電などは環境教育にも活かせるはずである。
- 風力発電は、中国製の鋼材を使用しているのが少し気になった。また、風車がまちのシンボルというのは少し古い気がする。江戸川に導入する場合は、やり方をもう少し考えなければいけない。バイオマスは、もともと行ってきた江戸川独自の取組から発展させられればと思う。
- 市民風力発電のファンドという仕組み自体は活かせると思うので、他の発電などで導入したい。また、双方施設担当者の方の熱意・情熱を感じることができた。この2点を視野に置き、計画に盛り込んでいきたい。

- 江戸川区は東京 23 区の中で海に面する数少ない区なので、風力発電は可能かと思う。バイオマスは、本日視察に行った施設も実証試験中心の施設であり、コストなどの面から考えても、実用はまだ難しいと感じた。
- 風力について、葛西臨海公園に建設するのは可能かと思った。これが江戸川区のシンボルにもなり、環境教育の題材としても活かせると思う。山田バイオマスは、農業を中心に考えられている施設なので、江戸川区に導入するには工夫が必要である。また、街の中でバイオマスプラントをやるのは課題が多いように感じる。どちらも担当者の相当なやる気を感じた。
- 市民風力発電と山田バイオマスプラントを視察して勉強にはなったが、江戸川区には直接は結びつかなかった。
- 市民風力発電は、市民出資という仕組みが良い。山田バイオマスは、やれば何でもできるのだという良い見本である。石油などの化石燃料が限られていると言われていの中で、出来る限り捨てずに循環し続ける仕組みは大切である。
- 風のエネルギーは、地球が存在し続ける限りあるものなので非常に有効だが、実際に風力発電だけで住民の消費エネルギーをまかなうことは難しい。ただ、環境教育という観点からのシンボルとしては意味があると思う。バイオマスについては、農業との関係があるので江戸川区には導入しにくいと思ったが、今後注目されている分野なので、重要ではあると思う。

3. 新エネルギーの導入拡大にむけて（経済産業省エネルギー対策課）

- 配布資料に基づき説明。

4. 今後のスケジュール

【事務局より今後のスケジュールの連絡】

- 第3回の策定委員会は、9月14日の10時から12時を予定している。場所は本日と同じタワーホール船堀である。また、策定委員会で使用する資料一式を本日発送したので、事前に目を通していただき、内容を議論していただきたい。

[了]